

みんなで、家族で、
ちいきで、防災について
かんがえます。

防災だより

だいごう
第4号

れいわ ねん がついたちはっこう
令和5年9月1日発行

ぶんせき きんの
文責 金野

が つ つ い た ち ぼ う さ い ひ

9月1日は防災の日です

がつ にち すい がつ か か ぼうさいしゅうかん
8月30日(水)～9月5日(火)は、防災週間

防災の日は、今から100年前の1923年(大正12年)9月1日に約10万5千人が犠牲となつた関東大震災が発生したことに由来します。

また、例年8月31日・9月1日付近は、台風が多く来る日とされる「二百十日」にあたり、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。先日も大雨で東山小学校付近の通学路の一部が崩れるということが起こりました。いざというときに、落ち着いて行動し、自分や家族、周りの人の命を守れるように日頃から準備をしておきましょう。



【通学路の崩落(8/20)】

「語り継ぎ」へのご協力ありがとうございました

前号の防災だよりで東山の豪雨災害についての情報提供をお願いしたところ、保護者や地域の方から当時の貴重な情報が多数寄せられました。ありがとうございました。

7月11日の「七夕ぼうさい集会」では、代表児童2名が家族から聞いた当時の水害の様子を発表しました。東山で大きな水害が起こったことを初めて知った児童も多く、語り継ぐことの大切さを実感しました。

今月の防災週間でも保護者や地域の方から寄せられた資料を掲示して、児童に伝えていきたいと思います。



【七夕ぼうさい集会での発表】

避難訓練…落ち着いて防火戸をくぐりましょう

今回の避難訓練は、防火戸を閉めた状態で行います。防火戸が閉まると、見慣れた校舎がいつもどちがう閉鎖された空間となります。いざというときにパニックにならないように防火戸をくぐり抜ける体験を行います。

防火戸とは>

熱や煙をセンサーが感知すると、防火戸は自動的に閉まり、炎や煙を防ぎます。

大きな防火戸の中にひと回り小さなドアがあります。これを「くぐり戸」と言います。避難するときはここを通ります。

いざというときに防火戸が正しく閉まるように、防火戸の近くに物を置いてはいけません。



防火戸の使い方>

- ① くぐり戸を押す。(引く)
- ② 足元の段差に気を付けて通る。
- ③ 次の人のため、くぐり戸を押さえる。
※先生が押さえるときもあります。

★工事の足場もくぐります★

現在、校舎の外壁工事をしています。今回は、工事現場の足場をくぐって避難します。

落ち着いて避難しましょう。



避難のとき気を付けるること

- ・頭を守る。(帽子やヘルメットをかぶる。)
- ・ハンカチで口元を押さえる。
- ・「おはしも」を守る。
～おさない。はしない。しゃべらない。もどらない。～
- ・避難経路やハザードマップを確認しておく。

習慣にしたいこと

- ・あいさつ(家族や友達、地域の方にも)
- ・整理整頓
(誰でも必要なときにすぐ出せる。)
- ・靴をそろえる。椅子を入れる。
(いざというとき、素早く行動できる。)